

第1回彩都東部地区検討会の結果について

- と き：平成24年2月22日（水）午後1時30分～午後3時
- ところ：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会 大会議室
- 出席者：竹内理事（大阪府）、中杉市理事（茨木市）、稲垣部長（（独）都市再生機構）、松本部長（阪急不動産㈱）、黒岩部長（三井物産㈱）、圓城部長（関電不動産㈱）
事務局：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会

【議事概要】

1. 検討体制 について

- 事務局より、「検討体制」について説明し、以下の点について確認された。

◎他の地権者への対応

- ・ 彩都協議会1号委員以外の他の東部地権者には、ホームページや、URによる地元説明会を通じて十分情報提供を行うとともに、意向把握にも努め、この検討に反映させていく。

2. 検討項目、及び3. 検討の進め方 について

- 事務局より、「検討項目」、「検討の進め方」について説明をし、以下のような点について意見がだされた。

◎コンセプトづくり

- ・ 計画と事業性と両輪で進めることは必要であるが、東部のまちづくりの意義を、どういうコンセプトで進めていくのかが第一。
- ・ こんな時代だからこそ、郊外のまちづくりにどのようなものが必要か、かなりの年月が経ったなか、今この東部地区をどうするのか、ランドデザインを示していくことが重要。

- その他、次の点が確認された。

◎有識者会議メンバー

- ・ 具体的なメンバーは、今後検討が進むなかで、決定する。

◎検討会の頻度

- ・ 適宜ワーキングを詰めて作業し、検討会は2か月に1回程度開催。

◎URによる地元説明会（2月28日～）

- ・ 主な説明事項は、検討会の発足、事業計画の変更の内容、URの責任を持った対応、土地の管理など。
- ・ 今後は、段階的な整備とならざるを得ないが、URとしては、事業協力者探しや、事業化のため、出来る限りの提案をしていく覚悟で、「検討会」を次のまちづくりに向けた、キックオフとの位置づけで臨む考え。

4. 検討結果の公表 について

- 事務局から、「検討結果の公表」について説明し、全委員、了承。

5. その他

- 今後ワーキングによる作業を積上げていく。次回開催は3月末予定。